

兵庫民医連 東日本大震災 対策ニュース

県連内の動き 【3/21(月・祝) 14時現在】 大震災から11日目 **第10号**

近畿地協 緊急記者会見



21日(日)午後2時から大阪民医連事務所で、いち早く東日本大震災の支援活動をおこなった近畿地協の医療支援団が緊急の記者会見を行った。大阪、京都、滋賀、奈良、兵庫各県連から総勢14名が出席しました。兵庫からは被災地から前日帰着したばかりの井村春樹医師と安達美枝看護師が出席。

大阪読売テレビや朝日新聞、毎日新聞、赤旗新聞などの記者から様々な質問も出され、被災翌日から坂総合病院で現地のスタッフと連携して救急外来のトリアージや避難所での健康相談など現地の状況をリアルに語った。その中には「トイレの回数を減らすために水を飲まず運ばれてきた70歳の女性」「診療が長時間の順番待ちでも文句も言わず他人を思いやる人」など深刻な事態の中でも人の心遣いを感じる話がありました。

全日本民医連の小松理事(西淀病院院長)は「被災地(者)支援対策のための緊急要求」を菅首相に申し入れ、医療支援の継続、被災者への心のケア、医療費の一部負担金免除など長期的な人員配置と迅速な情報提供を求めました。

本日、兵庫から2名出発

震災から11日目、今日は兵庫から宮城へ2名が出発しました。

また、県連・はあもにいから食材等を届けた栗山事務局員と藤原社長も本日15時頃に帰ってきます。

【現在 支援中の方々】 合計:29名

尼崎医:4名 共和会:7名
神戸医:10名 姫路医:4名
県連・はあもにい:2名
県連:神大医学生と医学対 計2名

【今後 支援予定の方々】

3/26 神戸医(5名)
ワゴン車にて。

支援募金

神戸健康共和会

¥1,795,312

尼崎医療生協

200万を超えている

神戸医療生協

120万を全日本へ

姫路医療生協 50万現地へ

※22日より支援募金を集約します。取り組み状況をお知らせください。

医療支援先遣隊の緊急報告会

尼崎医療生協 22日(火)13時～

組合員ひろば(あおぞら会館1階)

支援者による現地報告会

神戸健康共和会

22日(火)18時～ 医薬研3階